

おらほの病院

79

「あたたかな医療をめざして」

諏訪中央病院 リレーコラム

「きちんと」おくすり 飲めていますか？

みなさんはお薬を飲むとき、どうやって飲みますか？「もちろんお水で飲むに決まっているじゃない」と言われそうですが、飲み込むときや飲んだ後、むせたりしませんか？口の中にカプセルが張り付いたりしてなかなか飲み込めない、なんてことはありませんか？

「薬を飲み込む」というのは、サラサラの水分で固形物を流し込むので、意外と難しい行為なのです。錠剤だけが口の中に残って追加で水を飲むなんてこと、私はしょっちゅうあります。これは薬だけが口の中に残り残されてしまうから起こる現象です。

ひと昔前でしたら、錠剤はつぶして飲めばいい、カプセルは開けて飲めばいい、と考える方もいたかもしれませんが、医学が進歩すると同時に薬学

諏訪中央病院

こ いけ あん な
薬剤師 小池 杏菜



も進歩しています。今までは1日3回飲まないといけなかった薬も、錠剤の作り方を工夫することで1日1回飲めばゆつくりと体内に吸収されるように作られている薬もあります。また、胃酸によって効果が無くなってしまうような薬も、腸まで届けられるようになっていたりします。

小池杏菜（こいけ・あんな）
富士見町出身。薬剤師。
2009年諏訪中央病院入職。
2015年NST専門療法士取得。

お薬の名前の中に「CR」とか「徐放」なんて文字が入っていればゆつくり体内に吸収される工夫をされている薬、「腸溶」なんて文字が入っていたら、腸で溶けるように工夫された薬となります。そんな風に工夫された薬を安易につぶ

して飲んでしまうと急激に体内に取り込まれて効果が強く出てしまったり、胃酸などで効果が弱まってしまったりしてしまいます。せっかく処方してもらったお薬も効果が出なければ意味がありません。

飲み込みが悪くなってきたら、錠剤を溶かして、とろみを付けて飲むこともできます。大抵の薬は55度の白湯で溶けるようになってきます。すぐに溶けなくても、5〜10分置いておくことで水分を吸収し、柔らか

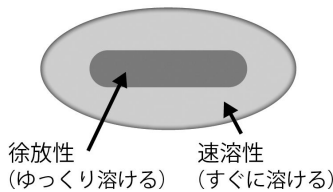


服薬補助ゼリー



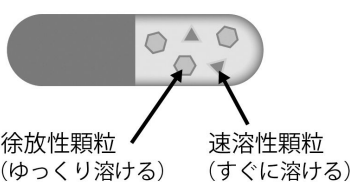
とろみを付けて飲む

錠剤



速溶性 (すぐに溶ける)
徐放性 (ゆっくり溶ける)

カプセル剤



速溶性顆粒 (すぐに溶ける)
徐放性顆粒 (ゆっくり溶ける)

くなった薬は容易に溶けま

す。溶かした後にとろみを付けて飲めば、むせることも少なくなります。

とはいえ、自分の薬が溶かしているのか、ダメなのか、きちんと確認してから行うことをお勧めします。

また、錠剤でも口の中で溶けるように工夫されている薬もあります。薬の名前の中に「OD」と入っているものはこの工夫がされているものになります。これは少量の水で溶けるように工夫されているので飲みやすいです。

また、処方されている薬であれば他の形のものに変更できるものもあります。例えば、錠剤で処方されているゼリータイプの薬に変更したり、貼り薬に変更したりすることも可能です。ただ薬の形を変えるだけでなく、本当にその薬が自分に必要なのか、考えることも大切です。自分一人で考えず、かかりつけの医師や薬剤師に是非、相談してみてください。

次回は5月7日掲載予定
(題字は鎌田實名書院長)